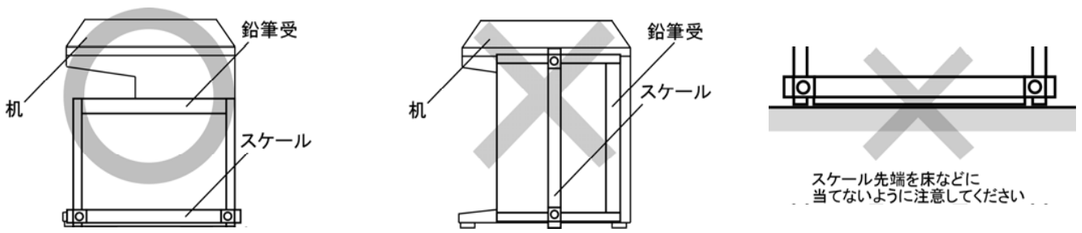
⚠ 注意

- ライナーボードは精密機器です。直射日光や高温、高湿でのご使用は避けてください。
- 図板には、磁気を使用したカードやディスク等を置かないでください。
  データが消失することがあります。
- ライナーボードを縦置きする場合は、下の図のように鉛筆受けを上にして、カーソルを下へおろしてください。下の右図のように置くと破損の原因となります。
  また、カーソル先端を床などに当てないように注意してください。



保証書とアフターサービス

① 梱包箱に保証書がついています。お確かめください。
② 保証期間は、お買い上げ日より１年間です。
③ 保証期間中に保証の範囲内で修理を依頼されるときは、保証書を添えて、お買い上げの販売店またはお近くの弊社各営業所に依頼してください。無償で修理いたします。
④ 保証期間を経過した場合、および保証の適用を除外された故障の場合でも迅速確実に修理いたします。
ただしこの場合には実費のご負担をお願いいたします。
(詳しくは保証書をご参照ください)

- **「ライナーボード及び、関連情報ホームページ」**

弊社製品に関する情報を、以下のホームページより確認いただけます。

http://www.mutoheng.com/

- **「ＦＡＱ 及び、メンテナンスについてのホームページ」**

お客さまからよくあるお問い合わせと、解決方法に関する情報及び
設計機材製品のお取扱方法などの情報を、以下ホームページで確認できます。

http://www.mutoheng.com/dr

仕様

製図板	マグネード製図板
製図範囲	619×860mm
図板サイズ	625×870mm
図板角度	1°, 6°

駆動方式	シンクロベルト方式
スケール微動調整	±3mm / 870mm
ヒンジ	ダブルヒンジ機構
外形寸法	687×954mm
質量	6.5kg

MUTOH

株式会社ムトーエンジニアリング

〒154-8560 東京都世田谷区池尻 3-1-3 **TEL （03)-6758-7120（代表）**

●保守・サービスのご用命は、上記ＨＰより最寄りの営業所までご連絡ください。

Ver1.4 2013.06

MUTOH

取扱説明書

OPERATION MANUAL

LINER BOARD

UM-09N

ライナーボード

このたびは、ライナーボード UM-09N をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品を安全にご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してお取り扱いください。

なお、本製品は十分調整しておりますが、万が一アフターサービスを依頼されます場合は、事前に本取扱説明書を基に再度点検のうえ、お買い上げの販売店またはお近くの弊社営業所までお問い合わせください。

安全にご使用いただくために

取扱説明書内の ⚠ 警告 と ⚠ 注意

取扱説明書内に記載している表示の内容を危険度の高さに応じて次の 2 段階に分類しています。
以下の警告用語が持つ意味を理解し、本書の内容(指示)にしたがってください。

⚠ 警告

誤った取扱いをした際に「使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

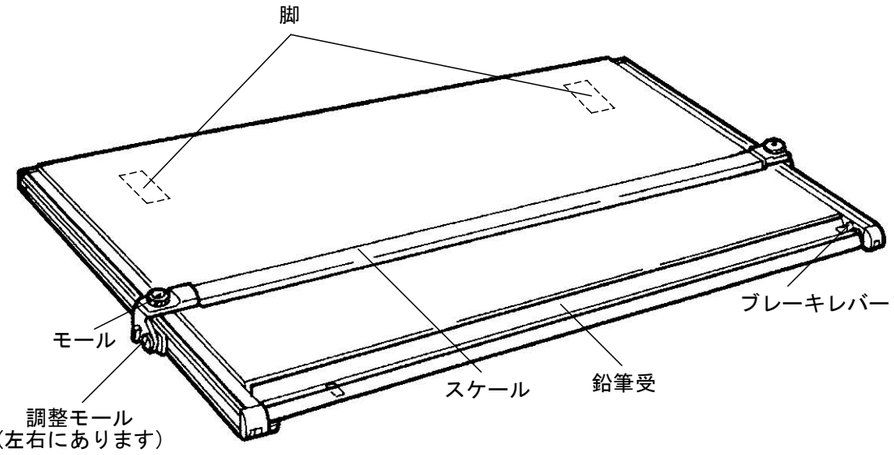
⚠ 注意

誤った取扱いをした際に「使用者が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

付属品をご確認ください

- ドラフティングプレート 500mm×2 枚、800mm×2 枚
- 保証書 1 枚

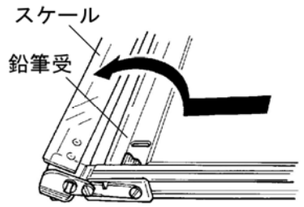
各部の名称



各部の操作方法

図面の貼り替えと清掃方法

スケールを一番手前に移動すると、スケールが反転できます。
図面の貼り替えや図板の清掃などに便利です。
清掃するときは、水を含ませた布をかたく絞って拭いた後、
やわらかい布で乾拭きしてください。

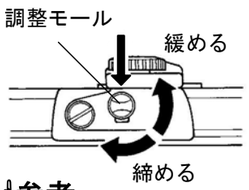


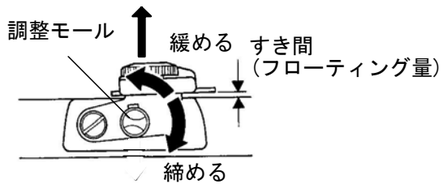
⚠注意

清掃するときは、シンナーなど、樹脂部を侵すものは絶対に
使用しないでください。変色、変形の原因になることがあります。

フローティング調整

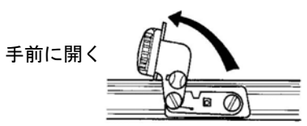
- フローティング量を大きくしたいときは、調整モールを緩めて、スケールを持ち上げた状態で調整モールを締めます。（左右）
- フローティング量をゼロにしたいときは、調整モールを緩めて、スケールを図板面に密着させた状態で調整モールを締めます。（左右）





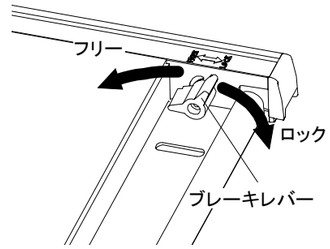
参考

本製品はダブルヒンジ機構を採用しています。したがって、スケールを手前に起こすだけでなく、
スケール全体も 10mm 程度持ち上げることができるため、厚紙にも対応可能です。



スケールの固定方法

鉛筆受け右側のブレーキレバーを手前側に倒すとスケールを固定することができます。また、ブレーキレバーを奥側へ倒すと解除することができます。

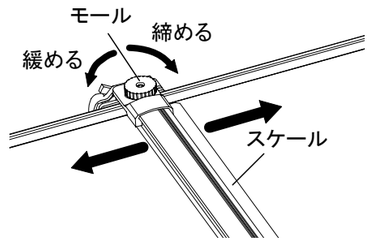


⚠注意

ブレーキをロックさせた状態では、スケールに負荷をかけないでください。故障の原因になります。
また、長時間使用しない場合には、ブレーキをフリー状態にして保管してください。
ロック状態のまま長時間保管した場合、再使用の際に、ブレーキが解除できない場合があります。

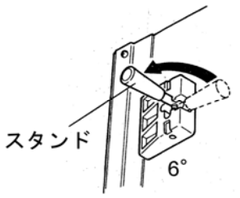
スケールの角度調整

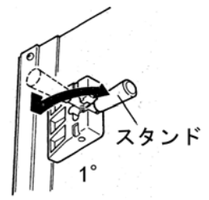
左右のモールを緩めると、スケールを±3mm の範囲で調整できます。
調整後は左右のモールを締めてご使用ください。
スケールを基線に合わせるときに便利です。
スケールを平行に戻す場合はフローティング量をゼロにして行い、
左右のモールを締めてください。



製図板の角度調整

製図板に角度をつけたい場合は製図板裏側の
傾斜スタンドを立ててご使用ください。
図板傾斜角度は 1°、6° の 2 段階で
ご使用いただけます。

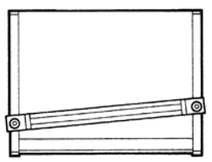


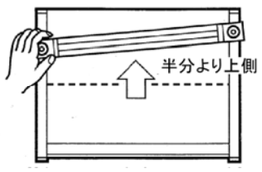


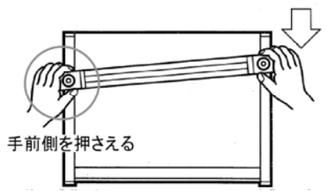
スケールが傾いている場合の平行調整

スケールに衝撃などが加わり、スケールが傾いた場合は下記の手順で調整してください。

①スケールが傾いている場合 ② スケールを図板の半分より上側へ移動させます。 ③手前側に傾いている方を押さえてもう一方を強く手前に引きます。このときカチッと音がして、2mm 程度平行方向に動きますので、これを繰り返して平行にします。







※この調整は、シンクロベルトの山とコロ山の歯飛び現象を直すものです。ゆっくりとていねいに引くだけで、
工具を使わず調整することができ、本体の精度に影響を与えません。

参考

ライナーボード UM-09N は、別売りの製図台 TH-05U に取り付けて使用することができます。